

97年度 秋の学会

原子核三者若手総会議事録

総会の基本的な進行は、議案書 ([yonupa-ml 66] giansho) に基づいて行われました。従って、以下で述べる予算の具体的な金額についてはそちらを参照して下さい。

1 会計報告

1. 前年度三者センター (金沢大学) の報告

三者若手全体の予算の収支決算について報告がなされました。(議案書参照)

- 訂正として、素粒子パートのコピー代に研究室で肩代わりしていた約6,000円が追加されました。結果、支出の合計は66,265円、残高は3,735円となりました。

2. 前年度三者名簿校 (広島大学、神戸大学) の報告

若手名簿の予算の訂正について報告がなされました。(議案書参照)

- 前回徴収を忘れていた消費税分を今回の残金から補充することについて議決をとり、認可されました。
- 質問(Q)と応答(A)

Q:名簿の収支は実費計算のはずなのに赤字になっているのは何故か?

A:予備の名簿を作って、それは次回の決算に回すことにした。

3. 予算案 (今年度三者センター校 (東北大学))

予算案 (議案書参照) の承認をとり認可されました。

- 各研究機関からの補助内訳の欄の、基研 (校費) の申請 200,000円は300,000円に訂正されました。また、素粒子論パートの前年度使用額は会計報告で述べた額に訂正されました。
- 質問(Q)と応答(A)

Q:三者事務局の配分が10万円から3万円に減っているのは何故か?

A:MLの発足により郵送費が大幅に減ったから。

Q:素粒子パート事務局は去年支出ゼロだったが、配分された予算は何に使われる予定か?

A:担当者不在のためわかりません。連絡がつき次第MLで報告します。

2 今年の議題

議案書のあるように、素粒子論パートからの提案「講義録をホームページと素粒子論研究に載せてはどうか?」に関する議論がなされました。活発な議論がなされましたが、詳細

を載せると煩雑になるので、以下では承認されたことについてのみ報告します。

1. 講義録その他を素粒子論研究に載せるかどうかは、素粒子パートの問題である。(参考として、過去に原子核パートでは原子核研究に掲載していた。)
2. 講義録と研究会報告を基研の `yomupa` のホームページに載せることは可能である。そのページの編集は各パート準備校が行うことにする。講義録等をホームページに載せるかどうかについては(講師や発表者の意志を含めて)各パートで判断する。
3. 講義録の製本の部数は例年通りとする。
4. 講義録を基研、KEK、理研、原研、RCNP に贈呈する。三者事務局の判断で他の施設にも配布してよいものとする。

3 来年の夏の学校について

来年の夏の学校について

1. 場所は、アルペンブリック(今年行われたところ)とする。
2. 日程については、来年は例年通り(講師3人)とし、期間の延長短縮については今後も議論を続け、その反映は再来年以降とする。

ということが決定されました。

文責：横野 貴志 (大阪大学)
yokono@funpth.phys.sci.osaka-u.ac.jp